

テーマ：北方領土（実践校）

## 胆振管内 伊達市立光陵中学校

## ■本実践のポイント（概要）

- 各学年の社会科及び第1学年の総合的な学習の時間の地域探究学習を関連付け、北方領土の歴史や現状を知るために各種資料を活用した学習活動を行い、北方領土への理解を深めました。また、「元島民による語り部の派遣」事業の活用を通して、郷土に対する愛着や誇りを育む実践を展開しました。

## ■ふるさと教育・観光教育の実践内容

## ①取組の様子

## (1) 課題の設定

元島民から北方領土での暮らしや思いを聞き、生徒の北方領土への興味・関心を高め、郷土に対する愛着や誇りを育むことを目的として課題設定を行いました。

## (2) 情報の収集

北方領土についての知識や理解を深めるため、公益社団法人北方領土復帰期成同盟発行の「北方領土問題を学ぼう」の資料を活用し、歴史的背景や現在の様子について調べ学習を行うとともに、「元島民による語り部の派遣」事業を活用しました。

## (3) 整理・分析

元島民による講話後、北方領土について、様々な立場の見方や考え方があることなど、学習したことを踏まえて、整理・分析し、感想をまとめました。

## (4) まとめ・表現

「北方領土問題の平和的な解決の方法は何か」について個人で考えをまとめるとともに、互いの考えを交流する活動を行い、北方領土への理解を深めました。



【ICTを活用した交流】



【語り部による講話】

## ②生徒の感想等

- 北方領土について、自分の地域で起こっている問題として協力していけるよう前向きに考える人が増えるとよいと思った。
- 元島民の話聞く経験ができ、これからも北方領土の歴史・文化等に目を向けていきたいと思った。

## ■取組の成果（○）と課題（●）

- 北方領土に関するアンケートで「北方領土の自然や歴史、領土の返還について調べたい」と回答した生徒の割合が75.3%から93.7%に、「自分が住んでいる地域の歴史や自然について関心がある」と回答した生徒の割合が72.9%から83.6%にそれぞれ増加しました。自分たちの住んでいる地域や北方領土に対する興味・関心を高めるとともに、郷土に対する愛着や誇りを育むことにつなげることができました。
- 北方領土について考えることを通して、郷土に対する愛着や誇りを育む機会を継続的に推進するとともに、教育課程との関連も踏まえながら、ふるさとについて考える時間を充実させる必要があります。